

第 124 回・日商簿記検定試験 2 級 第 1 問 仕訳問題類題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

現金預金	受取手形	売掛金	売買目的有価証券
満期保有目的債券	受託販売	未収金	仮払消費税
車両	建物	支払手形	買掛金
未払金	修繕引当金	前受金	仮受消費税
未払消費税	車両減価償却累計額	仕入れ	減価償却費
修繕費	租税公課	社債利息	発送費
固定資産売却損	売上	有価証券利息	固定資産売却益

1. 当期首に営業用建物（取得原価 10,000,000 円、残存価額 1,000,000 円、耐用年数 10 年、定額法による減価償却、間接法により記帳）の修繕を行い、代金 1,400,000 円のうち 800,000 円については小切手を振り出して支払い、残額は月末に支払うこととした。なお、このうち 500,000 円については建物の耐震構造を強化する効果があると認められた。また、修繕引当金の残高は 200,000 円である。
2. かねて予約を受けていた X 商品（売価：500,000 円）と織田商店から販売を委託されていた Y 商品（売価：300,000 円）を高橋商店に売り渡し、発送費 10,000 円については現金で支払った。X 商品については予約受付時に代金の全額を予約金として受け取っており、Y 商品の代金については全額掛けとした。なお、発送費のうち 4,000 円については、織田商店負担分である。
3. 決算にさいして、消費税の納付額 200,000 円を計算し、これを確定した。なお、消費税の会計処理は税込方式によっている。
4. 平成 21 年 6 月 12 日に売買目的で浅田産業株式会社の社債（額面：5,000,000 円）を額面 100 円につき 95.45 円で買い入れ、代金は証券会社への手数料 5,000 円および端数利息とともに小切手を振り出して支払った。なお、この社債の利率は年 2.57%、利払日は 3 月末日と 9 月末日の年 2 回である。また、端数利息の金額については、1 年を 365 日として日割で計算する。
5. 営業用車両（取得原価：2,000,000 円、残存価額：200,000 円、前期末における減価償却累計額：1,200,000 円、生産高比例法による減価償却、見積総走行可能距離：150,000km）を下取りさせて、新たな営業用車両（購入価額：3,000,000 円）を購入した。なお、旧車両の当期の走行距離は 15,000km、下取り価額は 100,000 円で、購入価額との差額は月末に支払うこととした。